

第15回加西市公共交通活性化協議会 次第

日 時 平成25年11月8日(金) 14時～

場 所 加西市役所 1階 多目的ホール

1 開 会

2 報告事項

(1) 第14回加西市公共交通活性化協議会(書面協議)協議結果について

(2) ねっぴ～はっぴ～スタンプラリー2の実績報告について

(3) 加西市コミュニティバス乗り継ぎ券の実施について

3 協議事項

(1) はっぴーバスの小人回数券の検討について

(2) 公共交通総合連携計画改定に向けた検討について

3 その他

(1) 次回協議会の開催について

平成26年1月～2月頃予定

4 閉 会

事前配布資料一覧

資料 1	第 14 回加西市公共交通活性化協議会協議結果	P 1
資料 2	ねっぴ〜はっぴ〜スタンプラリー 2 実績報告	P 2
資料 3	加西市コミュニティバス乗継券の実施について	P 4
資料 4	はっぴーバス小人回数券の検討について	P 6

※その他の資料については当日にお渡しします。

第14回加西市公共交通活性化協議会の協議結果

協議事項 はっぴーバス根日女の湯線の一部路線休止について

■協議実施概要

○協議実施日（回答書締切日）

10月4日（金）

○協議参加者

20名（委員20名、オブザーバー4名）

■協議結果

○協議事項1

全会一致により承認

ねっぴ〜はっぴ〜スタンプラリー2 実績報告

【概要】

公共交通の利用促進と子どもたちへの啓発を目的として、夏休み期間中に、加西市が運営又は運営に関わるバス（KASAI ねっぴ〜号・はっぴーバス）及び北条鉄道を利用したスタンプラリーを実施した。

- 主催 加西市公共交通活性化協議会
- 期間 平成 25 年 7 月 20 日（土・祝）～9 月 1 日（日）
- 流れ

期間中、KASAI ねっぴ〜号、はっぴーバス、北条鉄道に乗車することでもらえるスタンプを沿線の店舗に提示すると、スタンプ 1 つにつき 1 回、店舗ごとの特典とねっぴ〜缶バッジを受けとることができる。さらに、スタンプを 2 つ揃えれば、交換窓口でくじ引きの上、賞品と交換できる。

●協賛店舗・特典

沿線 9 店舗に協力いただき、各店舗で商品プレゼントや値引き・割引等のサービスをご提供いただいた。

- ・菓遊館（北条町・和菓子）
- ・サンモーリス（北条町・洋菓子）
- ・アンプリエ mishima（北条町・洋菓子）
- ・フレッシュベーカリーグリム（北条町・パン）
- ・パン処森庵（別府町・パン）
- ・駅舎工房 Mon Favori（東笠原町・パン）
- ・りんごの香（桑原田町・パン）
- ・パスコロ（国正町・ジェラート）
- ・メイベルアウトレット（下宮木町・ドーナツ）

●賞品

3つの景品交換所（北条鉄道北条町駅、法華口駅舎工房 Mon Favori、原始人会交流館）において、くじ引きにより 1 等～3 等の賞品を用意。

	1 等(2000 円相当)	2 等(1000 円相当)	3 等(200 円相当)
北条町駅	北条鉄道グッズ		ねっぴ〜タオル
Mon Favori	米粉パン 相当額分		
原始人会	農家レストラン「土一七日屋台」食事優待券 相当額分		

【広報方法】

- ・ 広報かさい7月号、市ホームページ、観光まちづくり協会 Facebook 等に掲載し情報を周知。
- ・ 期間中、チラシを市役所、交流センター、北条鉄道北条町駅・法華口駅、原始人会及び各バス車内で配布したほか、特に子どもたちへの啓発を図るため、市内小学校及び幼稚園・幼児園・保育園の全児童にチラシを配布した。

【利用実績】

- 回収できた分のスタンプカードの集計における各交通機関の利用数は、ねっぴ〜号 60、北条鉄道 115、はっぴーバス 12。各景品交換所での抽選実施数は以下のとおり。

	総数	1等	2等	3等
北条町駅	54	3	10	41
Mon Favori	37	3	7	27
原始人会交流館	3	0	0	3
計	94	6	17	71

- 沿線店舗特典である缶バッジについては、270個（各店舗 30個ずつ）用意したうち、計 178個を配布。

【費用】

	単価（円）	数量	金額（円）
印刷代			70,359
スタンプラリーチラシ	14.8	4,500枚	66,400
スタンプ（ねっぴ〜号予備分）	3,959	1個	3,959
景品代			46,420
ねっぴ〜缶バッジ	42.3	270個	11,420
3等景品（ねっぴ〜タオル）			（在庫を使用）
各交換所立替分			
北条町駅		{ 1等×3本 2等×10本	6,000 10,000
駅舎工房 Mon Favori		{ 1等×3本 2等×7本 3等×27本	6,000 7,000 5,400
原始人会交流館		3等×3本	600
抽選用具代			-
抽選セット（抽選箱・くじ）代			（在庫を使用）
計			116,779

加西市コミュニティバス乗り継ぎ運賃導入について

加西市北部 西在田・在田地区から北条市街地へは『中富口』バス停まで「はっぴーバス」で、『中富口』から市街地へは「ねっぴ〜号」（又は神姫バス大和線）に乗り継いでいただいています。

乗り継いで北条市街地方面（アステアかさい、市役所など）まで来られた場合、現行の片道の料金 410～470 円を 250 円に軽減することで、はっぴーバス・ねっぴ〜号の利用促進を図ります。

■実施日時

平成 25 年 11 月 1 日（金）より

■制度概要

現行 はっぴーバス（全区間 250 円）＋ねっぴ〜号市街地線（160 円～220 円）

↓

制度導入後 はっぴーバス（全区間 250 円）＋ねっぴ〜号市街地線（乗継券で支払（実質無料））

別紙「西在田地区～中富口～北条市街地までの運賃がお安くなります」も参照ください

■対象区間

・ねっぴ〜号市街地線

（中富口）～殿原～鴨谷～鴨谷南～古坂～古坂 7 丁目～加西ハイ中央～加西病院東～加西病院
～加西病院東～加西ハイ西～市役所前～横尾南～アステアかさい～イオンモール
～JA 北条富田～高速北条バス停前

・神姫バス大和線

（中富口）～殿原～鴨谷～鴨谷南～横尾東口～市立加西病院～横尾～横尾南～アステアかさい

平成25年

11月1日より

西在田地区～中富口～北条市街地

までの運賃がお安くなります！

このたび、西在田地区から中富口で乗り継いで北条市街地へ行かれるお客様の利便性向上のため、よりご利用いただきやすい乗り継ぎ運賃を設定いたします。

乗り継ぎ運賃とは？

はっぴーバスとわっぴー号・神姫バス大和線のご利用で、わっぴー号・神姫バス大和線の中富口～北条市街地間の運賃が割引(実質無料)になります。

①はっぴーバスで中富口までご利用いただき、降車時にはっぴーバス乗務員へ乗り継ぐことを告げてください。

②はっぴーバス乗務員から、下記のような乗り継ぎ専用乗車券を受け取って下さい。
※このとき、往復分をお渡しします。帰りの券は失くさないようお願いください



※イメージ

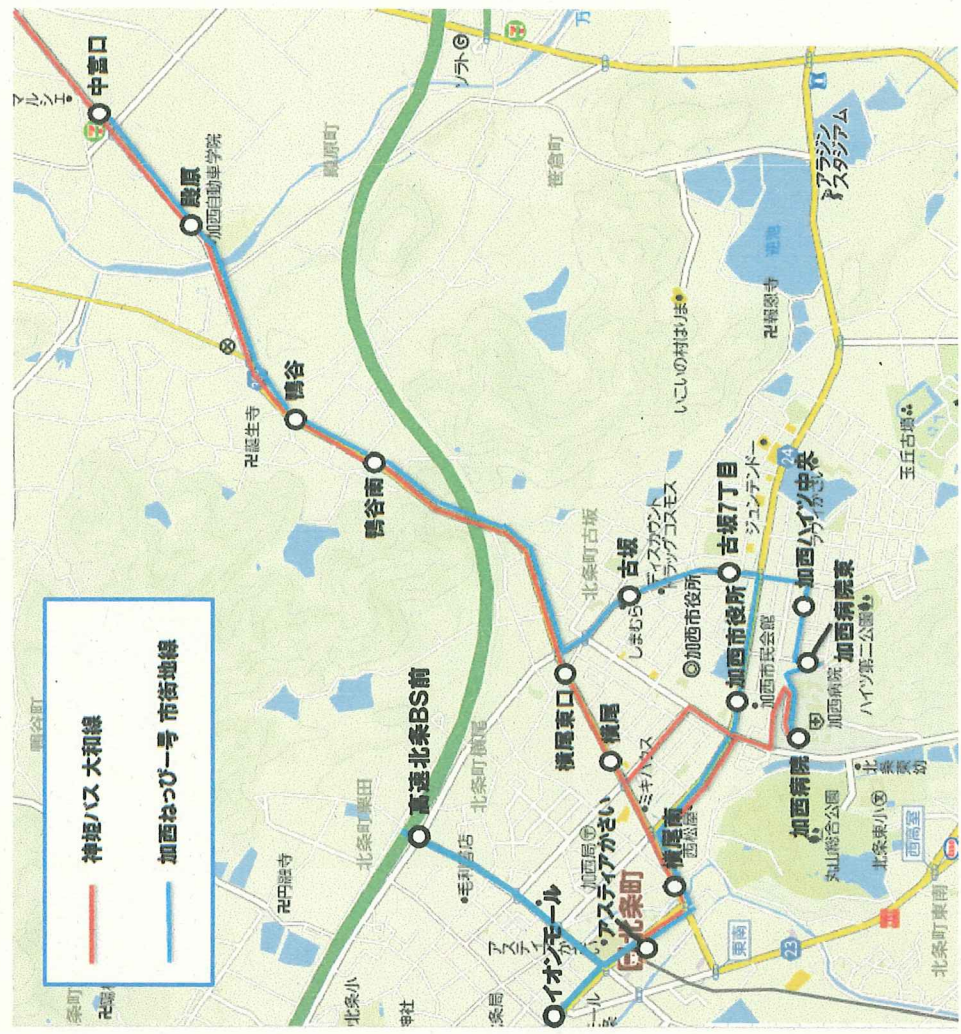
③中富口で乗り継いだバス降車時、運賃箱に乗り継ぎ専用乗車券(往路券)をお入れ下さい。帰り、北条市街地から中富口までご利用されるときは、同じように中富口で降車時、運賃箱に乗り継ぎ専用乗車券(復路券)をお入れ下さい。

お問い合わせは・・・加西市人口増政策課 TEL/0790-42-8700まで

乗り継ぎ専用乗車券がご利用いただける路線・区間

赤い線の神姫バス大和線
中富口～横尾
～加西病院～アステア
～イオンモール～高速北条
青い線の加西わっぴー一号市街地線
中富口～加西病院
～市役所～アステア
～イオンモール～高速北条

の各区間でご利用いただけます



はっぴーバス小人用回数券の検討について

はっぴーバスの回数券は、大人用9枚つづり2,000円のみとなっています。
これに加え、小人用（小学生以上中学生未満）の回数券を設定し、利用促進を図りたい。

はっぴーバスの運賃について

大人乗車1回につき250円

小人乗車1回につき100円

回数券 9枚セット 2,000円（1枚あたり222円） 88.8%

はっぴーバス小人用回数券（案）について

小人用回数券 9枚セット 800円（1枚あたり88.9円） 88.8%

第15回加西市公共交通活性化協議会 出席者名簿

平成25年11月8日

区 分	所 属	氏 名
委員 (会長)	加西市副市長	大豊 康臣
	加西市議会議員 総務委員長	井上 芳弘
(議長)	京都大学大学院 工学研究科・医学研究科 特定教授	土井 勉
	国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部 運輸企画専門官	金澤 重之
	兵庫県北播磨県民局加東土木事務所 主幹(企画調整担当)	太田 吉哉
	兵庫県加西警察署 交通課長	潮見 竜一
	神姫バス(株)バス事業部計画課長	野田 年洋
	神姫バス労働組合代表(副委員長)	中川 貴水
	北条鉄道株式会社総務企画部長	高井 均
	兵庫県バス協会専務理事	中澤 秀明
	兵庫県タクシー協会理事 (東播地区代表)	宇高 昌利
	(監査委員)	加西市区長会会長
加西市老人クラブ連合会会長		丸岡 肇
(監査委員)	加西商工会議所会頭	(欠席)千石 唯司
	NPO法人原始人の会	池田 孝一
	加西親栄自動車有限会社 専務	増田 直史
	市民公募委員	大豊 洋子
	加西市ふるさと創造部長	小川 輝夫
	加西市都市整備部長	木下 義視
	神戸大学大学院工学研究科 教授 (学識経験のあるもの)	(欠席)喜多 秀行
オブザーバー	国土交通省近畿運輸局 企画観光部交通企画課長	加納 陽之助
	国土交通省近畿運輸局 鉄道部計画課長	大崎 眞一
	国土交通省近畿運輸局 自動車交通部旅客第一課長	(欠席)木村 淳三
	兵庫県県土整備部県土企画局 交通政策課 主任	尾崎 雄一郎

■第13回加西市公共交通活性化協議会での主な意見
 ・「ねっぴ〜はっぴ〜スタンプラリー」について

<p>主な意見</p> <p>ねっぴ〜はっぴ〜スタンプラリーについて、乗客がはっぴ〜バスからねっぴ〜号に乗り継ぐ際に、ねっぴ〜号のラッピングがされていないバス（オレンジ色の神姫バス）に乗り、そこでスタンプをもらおうとしたが、もらえなかった。このため乗客が、ねっぴ〜号乗るため、乗り過ごし待たなければならないという問題があった。今年の夏休みに実施するねっぴ〜はっぴ〜スタンプラリーであるが、前回の課題を踏まえて、今回はそれを改善して実施するという旨を市民に告知する必要がある</p> <p>・はっぴ〜バスにおける最近の増加要因について</p>	<p>対応・方針</p> <p>大和北条線で使用している車両が、中富口〜北条線を走ることがあるため、大和北条線にもスタンプを載せることとし、コミバス利用者はすべてスタンプを押せる体制を整えました。</p> <p>告知ホームページに前回の不備を掲載し、お詫びするとともに、改善対応する旨記載しました。</p>
<p>主な意見</p> <p>はっぴ〜バスの利用者は月450人程度であったが、平成24年のダイヤ改正後、月400人程度に減少した。その後、利用者は月450人〜500人程度となり増加傾向であるが、最近の増加傾向の理由を分析し、さらなる利用者増につなげていく必要がある。</p> <p>・公共交通網の再編について</p>	<p>対応・方針</p> <p>昨年夏のNPO法人原始人の会による戸別訪問と、マイダイヤの定着が効果的であったと考えています。</p>
<p>主な意見</p> <p>今後の加西市の展望として、現在でも公共交通不便地域があるため、地域住民と協働してデマンド型公共交通についても考えていく必要がある。</p> <p>今後、後期高齢者の増加が見込まれる中で、デマンド型のバスやタクシーの導入の検討後、後期高齢者の対応をどのようにしていくかを具体的に判断できる材料を示してほしい。</p> <p>公共交通不便地域の市民は、必ずしも北条地区のみに用事があるのではなく、近くの施設に用事がある場合が多いので、北条地区へのネットワーク接続のみに特化した計画だけでなく、それぞれの生活圏での人の動きを考えていく必要があるのではないか。</p> <p>・他分野との連携について</p>	<p>対応・方針</p> <p>現計画の公共交通網再編方針に基づいて、地域住民の方のご協力もいただきながら、新たな公共交通を導入の検討をしていきたいと考えています。</p>
<p>主な意見</p> <p>現状の公共交通では高齢者等が目的地に行きたいというニーズに十分に応えることができていない。また鉄道やバスと比較するとタクシーに対する補助が少ない状態である。今後の加西市全体の交通をサポートするのはタクシーであると考えられるため、福祉部局とともに連携を図りながらタクシーの活用を考えていく必要がある。</p> <p>加西市全体の費用を考えると、交通以外の分野に投資するよりも交通分野に投資する方が社会全体の費用を抑えることができるという視点もあるため、その点も踏まえて検討する必要がある。</p>	<p>対応・方針</p> <p>福祉部局をはじめ、他分野を含めた社会全体で公共交通の価値について理解を深め、今後は他分野と連携して検討していきたいと考えています。</p>

連携計画改定に向けた検討について

平成25年11月8日

(当日)資料3

策定経緯

■ 策定経緯

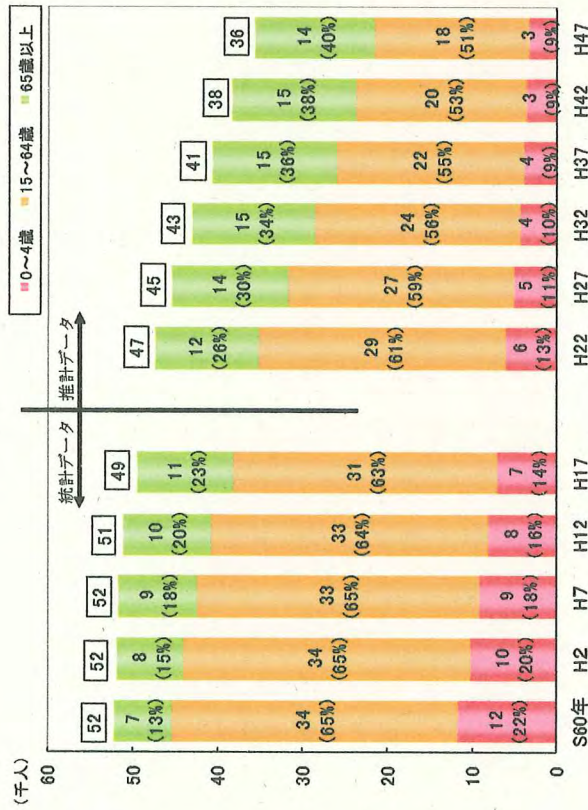
年月	内容
平成19年10月	協議会設置(H19.10～H20.3に計4回開催)
平成20年5月	法定協議会設置(H20.5～H21.3に計3回開催)
平成20年7月～	各種アンケートの実施
平成20年10月～	公共交通実験運行
平成21年1月～2月	パブリックコメントの実施
平成21年3月	加西市公共交通総合連携計画策定

連携計画策定後の変化

■ 年齢構成別人口の推移

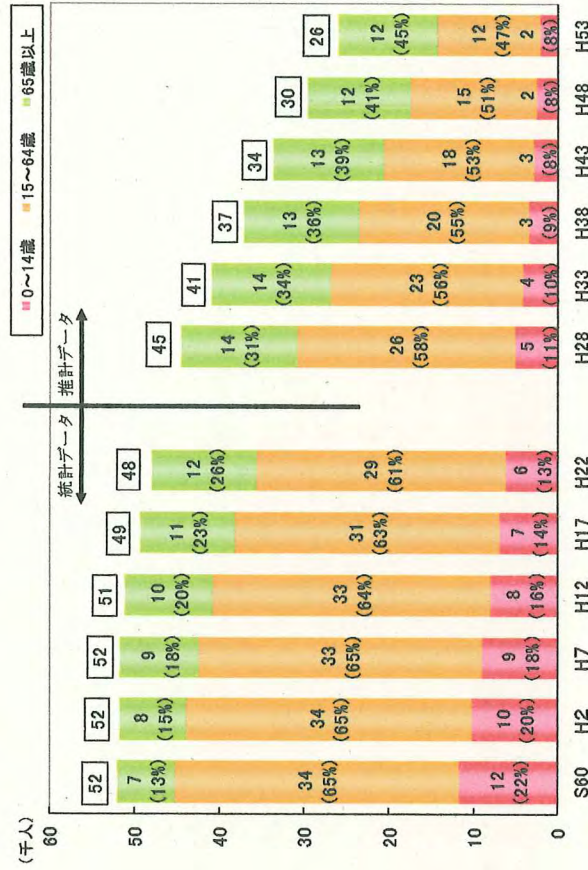
・ 連携計画策定時 (H21.3時点) と比べ、人口減少、高齢化とともにさらに進展する予測がなされている。

＜ 平成21年3月時点 ＞



出典：H17以前：国勢調査
H22以降：人口問題研究所 市区町村別将来推計人口 (平成20年12月推計)

＜ 平成25年6月時点 ＞

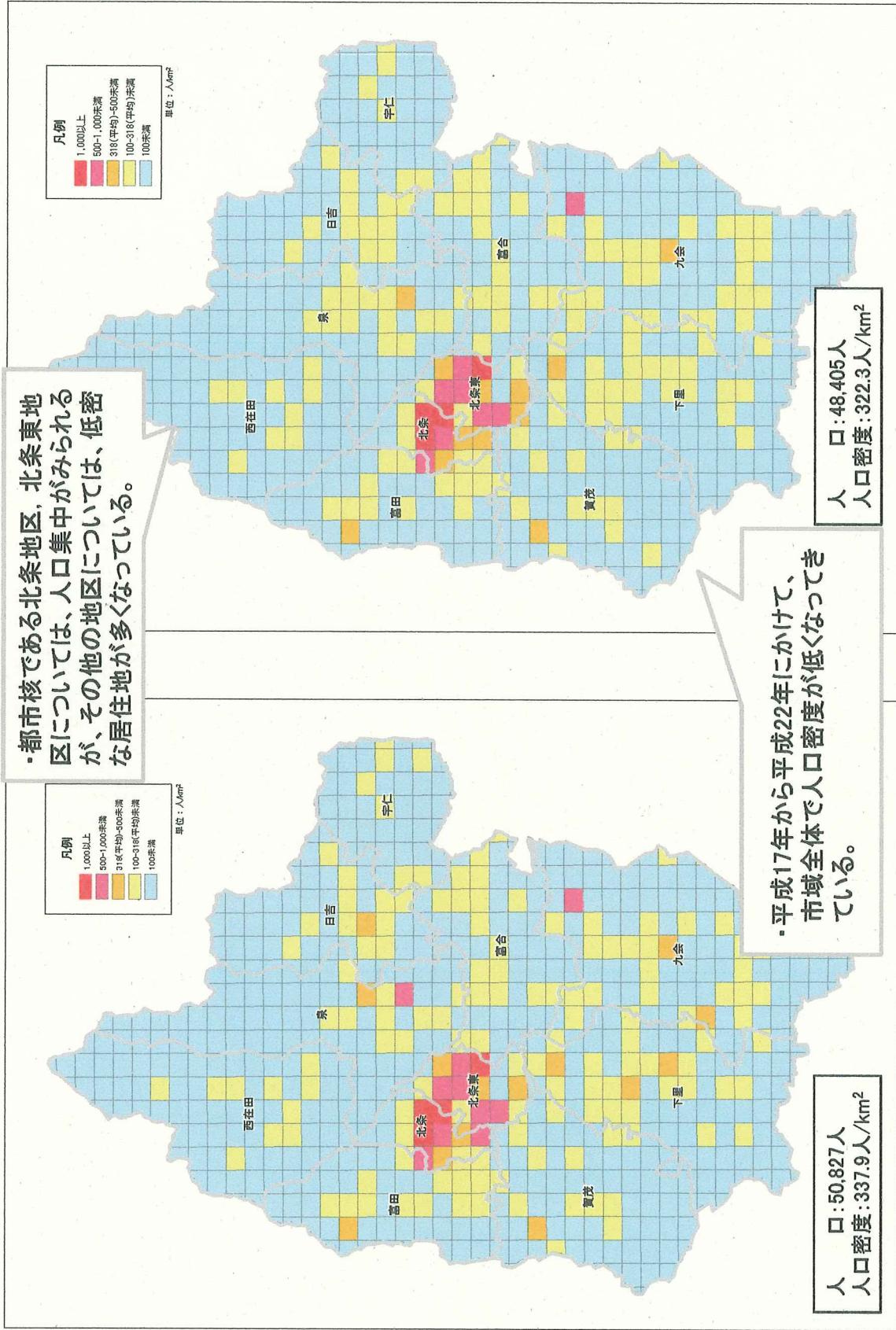


出典：H22以前：国勢調査
H28以降：第5次加西市総合計画 将来推計人口 (平成23年11月推計)

地域別人口密度

< 平成17年 >

< 平成22年 >



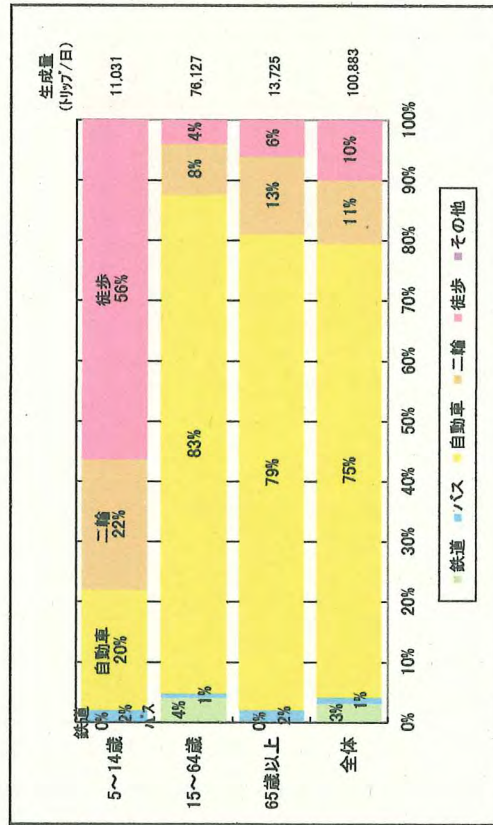
出典：平成17年国勢調査

出典：平成22年国勢調査

■ 年齢構成別交通手段分担率

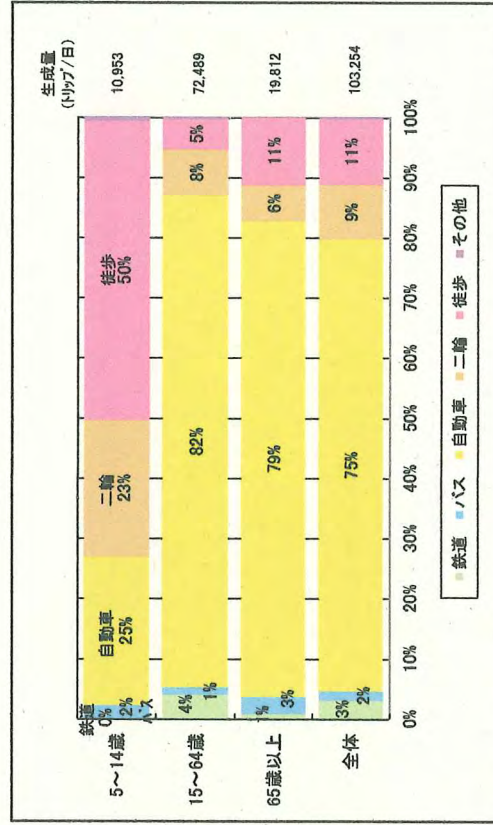
- ・加西市全体においては自動車利用が75%となっており、過度に自動車に依存した交通体系となっている。
- ・65歳以上においても自動車利用が79%と高くなっている。

< 平成18年 >



注) 代表交通手段により集計
出典: 平成18年播磨都市圏パーソントリップ調査結果

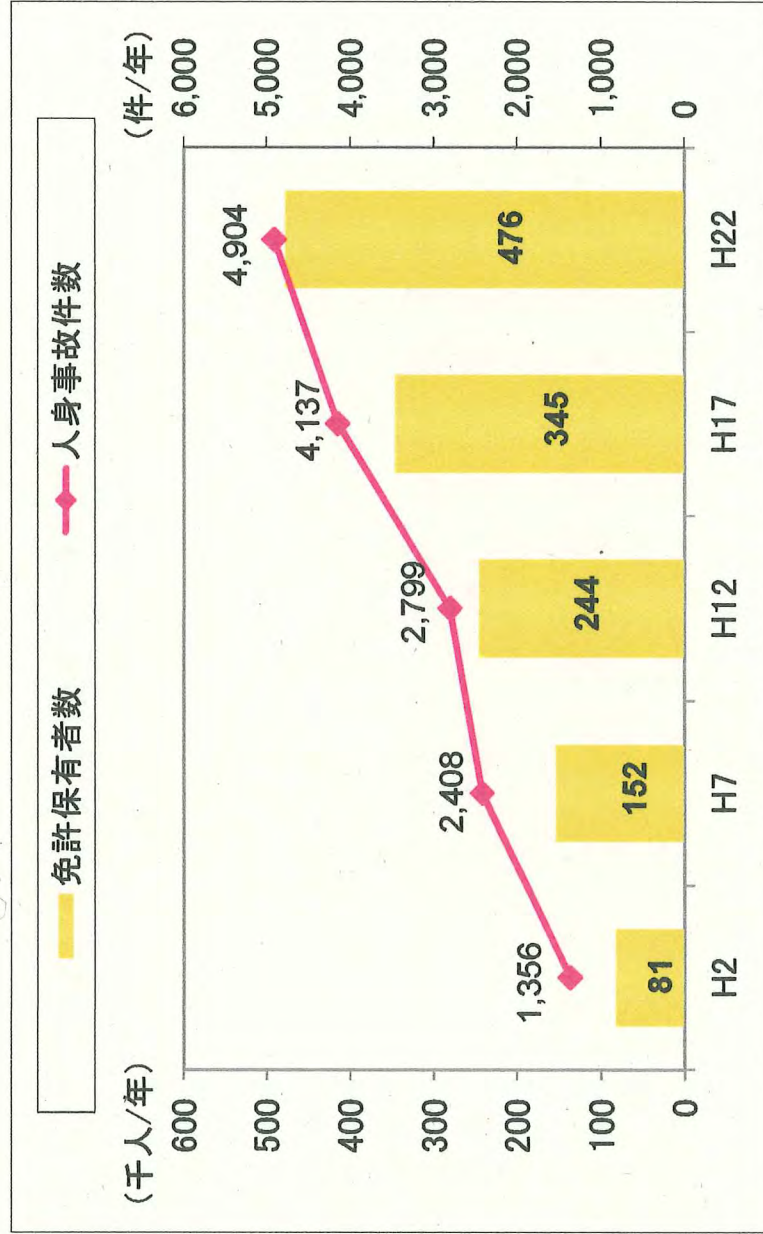
< 平成22年 >



注) 代表交通手段により集計
出典: 第5回近畿圏パーソントリップ調査結果

■ 高齢者の免許保有者数及び人身事故件数の推移（兵庫県）

・高齢者の免許保有者数は年々増加しており、同時に高齢者が加害者となる人身事故についても年々増加している。



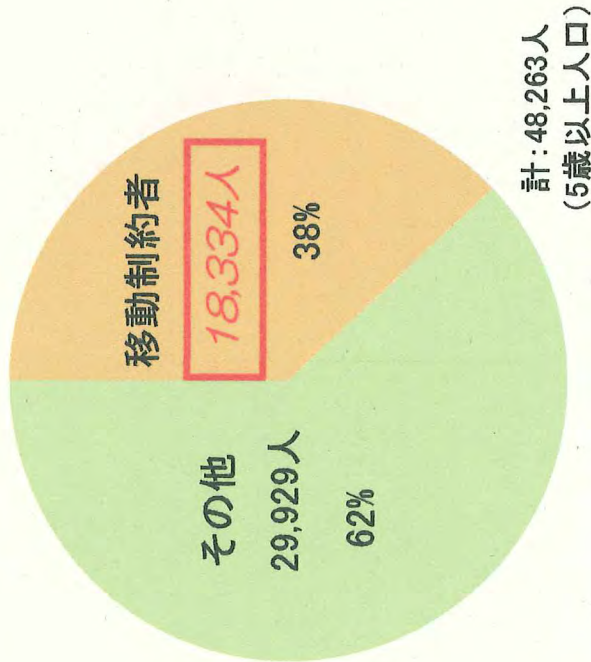
注) 免許保有者数は第1当事者の件数を示しており、第二種免許の大型、普通、大特、けん引、第一種免許の大型、普通、大特とした。
(したがって、二輪、小特、原付のみの免許保有者数を除いている)

出典：免許保有者数：交通年鑑
人身事故件数：ひょうご交通10ヵ年計画業務

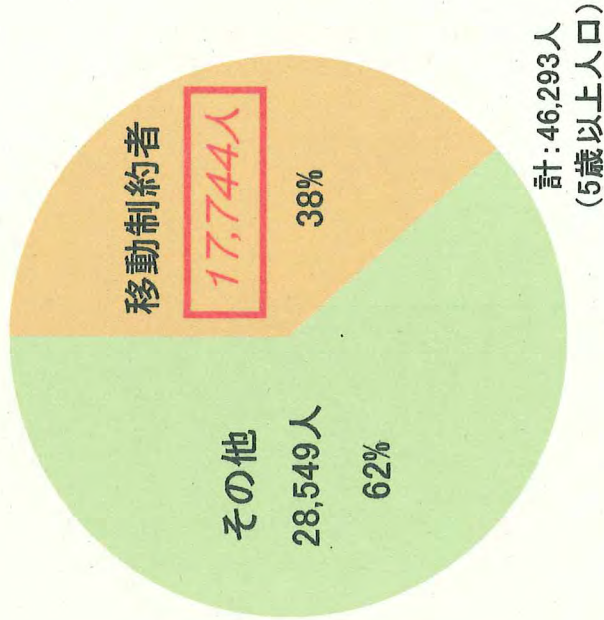
■ 自動車移動制約者数

・自動車移動制約者は、平成18年から平成22年にかけて割合の変化はないものの、市民の約4割、約1.8万人が自動車移動制約者である。

< 平成18年 >



< 平成22年 >



※ 以下の条件で1つでも該当する人を移動制約者として設定

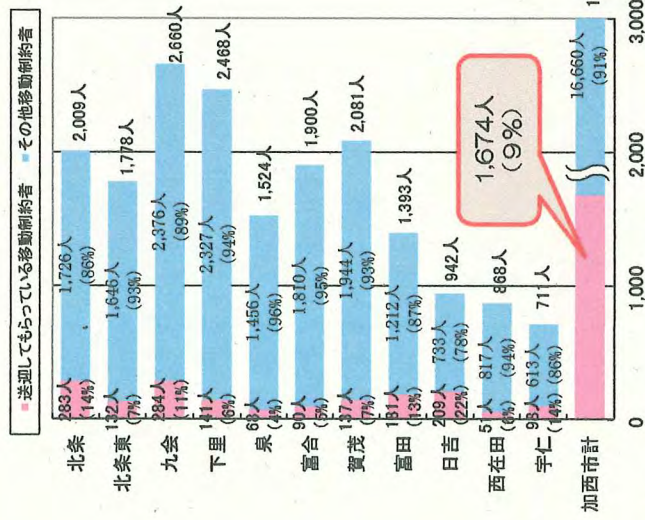
- ・70歳以上の高齢者（自動車運転免許更新時に高齢者講習が必要）
- ・自動車運転免許なし
- ・家に自動車がない

出典：平成18年：平成18年播磨都市圏パーソントリップ調査結果
平成22年：第5回近畿圏パーソントリップ調査結果

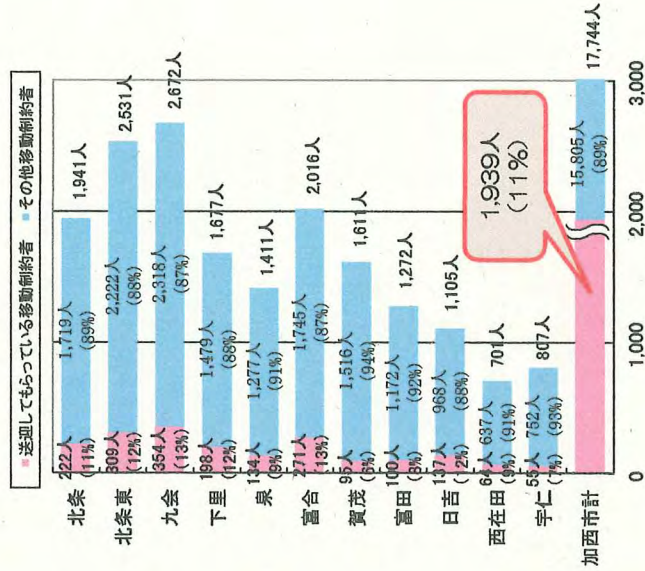
■ 送迎してもらっている自動車移動制約者数

・自動車移動制約者人数は平成18年から平成22年にかけて減少しているもの(P.6参照)、送迎してもらっている自動車移動制約者は増加している。

＜ 平成18年 ＞



＜ 平成22年 ＞



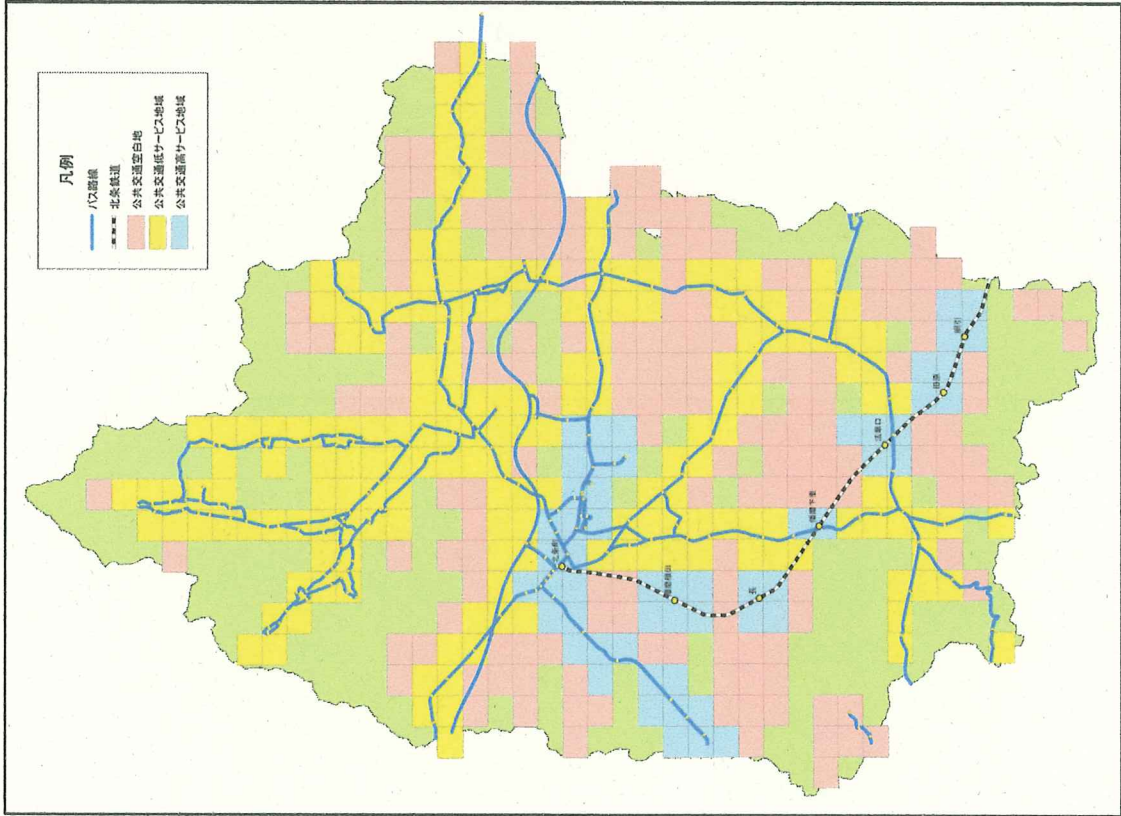
※ 以下の条件全てが該当する移動制約者を「自動車で送迎してもらっている」と設定

- ・利用交通手段が自動車
 - ・運転していない
 - ・同乗者1人
 - ・出発時刻 6時～22時
 - ・到着時刻 6時～22時
- 他都市においても公共交通が比較的運行している時間帯

出典：平成18年：平成18年播磨都市圏パーソントリップ調査結果
平成22年：第5回近畿圏パーソントリップ調査結果

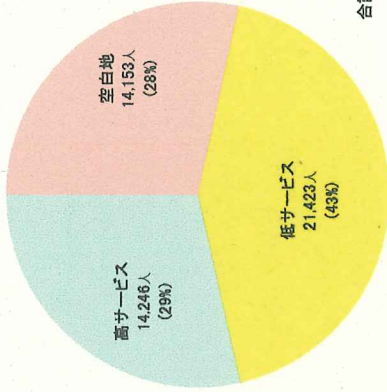
■ 公共交通サービス水準

＜ 平成25年 ＞

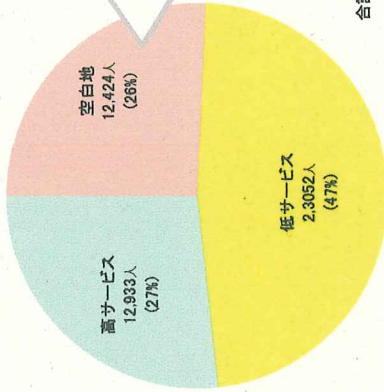


【公共交通サービス別人口構成】

＜ 平成18年 ＞



＜ 平成25年 ＞



・はっぴーバスの導入や路線・ダイヤ改正等のコミュニティバス再編により、公共交通空白地の割合は平成18年時点より減少している。

・平成22年度国勢調査結果の人口メッシュデータにより集計
 ・駅圏圏は各駅を中心に半径500m(徒歩圏)
 ・バス圏圏は各バス停留所を中心に半径300m(徒歩圏)
 ・公共交通高サービス地域とは、運行本数30本以上の駅圏圏やバス停留圏圏がある地域
 ・公共交通低サービス地域とは、運行本数30本未満のバス停留圏圏しかない地域
 ・運行本数30本とは、概ね30分方向1時間に1本の運行頻度
 ・公共交通空白地とは、駅圏圏やバス停留圏圏がない地域

現在の公共交通に対する行政補助額

■ 公共交通にかかる市の負担額(決算)

公共交通機関	運行路線・補助内容等 (平成24年度時点)	市負担額 (※1)		他の行政負担						行政負担計	
		H20	H24	国		県		その他		H20	H24
				H20	H24	H20	H24	H20	H24		
KASAIねっぴ〜号(※2)	市街地線・国正線・青野原病院線	19,003	20,126	—	—	922	438	—	—	19,925	20,564
	はっぴーバス(※3)	—	9,780	—	2,624	—	(※6) 0	—	—	—	12,404
	姫路駅前〜山田〜北条	—	267	0	801	0	534	—	—	0	1,602
路線バス(※4)	姫路駅前〜大貫〜北条	—	95	414	286	414	191	—	—	828	572
	姫路駅前〜猫尾〜社	—	749	2,094	2,246	2,094	1,497	—	—	4,188	4,492
	姫路駅前〜法華山一乗寺〜社	3,804.5	4,275	0	2,543	3,804.5	3,405	—	—	7,609	10,223
	姫路駅前〜古法華公園	173.5	106	—	—	173.5	211	—	—	347	317
	アステアアかさい〜嬉野台生涯教育センター	130.5	128	—	—	130.5	254	—	—	261	382
	アステアアかさい〜大和	2,237.5	2,191	—	—	2,237.5	2,702	—	—	4,475	4,893
北条鉄道(※5)	運営費補助	6,346	7,811	2,508	5,876	8,854	8,794	—	—	17,708	22,481
	計	14,895	15,735	—	—	—	—	—	668	14,895	16,403
合計		40,244	53,452	2,508	8,500	9,776	9,232	—	668	52,528	71,852

※1) 市負担額とは、加西市が支出した金額から、市が国・県等から補助を受けた金額を差し引いた実質負担額のこと。

※2) ねっぴ〜号のラッピング費用は含まない。

※3) はっぴーバスの負担額には、運行以外の費用を含む。(運営、架装、バス停整備等)

※4) 路線バスの国・県補助額については、加西市にかかる部分のみの金額であり、他市町にかかる負担は別途あり。

※5) 北条鉄道の安全輸送整備費等(H20年26,129千円[うち、加西市負担額26,129千円]、H24年15,552千円[うち、加西市負担額3,714千円])の負担額は除いて算出。

※6) 県のコミバス補助(ねっぴ〜号・はっぴーバス)については、ねっぴ〜号に一括計上。

平成20年度：市民1人あたりの市負担額 **822円/人・年** (人口48,980人[H21.3])
 平成24年度：市民1人あたりの市負担額 **1,151円/人・年** (人口46,432人[H25.9])

 平成20年度から平成24年度にかけて **329円/人・年** の増額

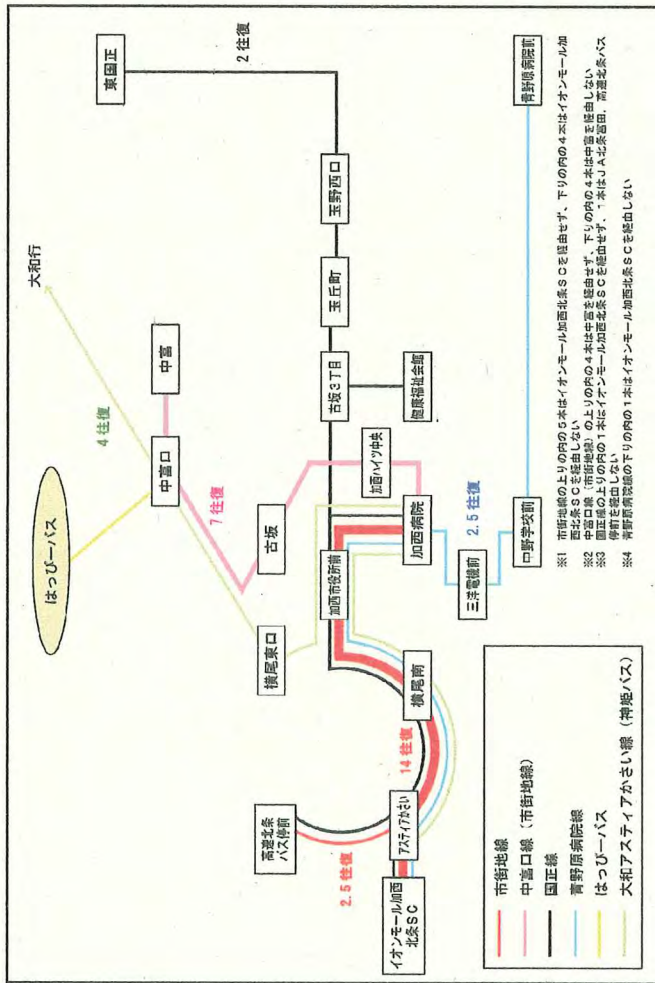
これまでの取り組み

■ これまでの取り組み

事業名	事業項目	内容	事例
コミュニティバス	コミュニティバスの再編	コミュニティバス(ねっぴ〜号)路線・ダイヤ改正	1-1
	新たな交通システムの導入	はっぴーバスの運行開始	1-2
	乗って楽しいコミュニティバスの提供	コミュニティバス(ねっぴ〜号)のラッピング	1-3
路線バス	路線バスの利用促進	安全対策の実施	2-1
		地域活動の実施	2-2
		低床バスの導入	2-3
北条鉄道	鉄道の利用促進を図るイベントの実施	イベント列車の運行	3-1
		ボランティア駅長制度	3-2
		北条鉄道利用促進キャンペーンの実施	3-3
		駅舎の整備	3-4
コミュニティバス 北条鉄道	その他	「ねっぴ〜はっぴ〜スタンプラリー」の実施	4-1
通勤バス	その他	通勤バスの導入検討	4-2

事例1-1) コミュニティバス (ねっぴ〜号) 路線・ダイヤ改正

< 現在のコミュニティバス (ねっぴ〜号) の路線図 >



ねっぴ〜号の運行：神姫バス

・路線・ダイヤ改正 (平成20年10月28日)

系統	概要	詳細内容
市街地 循環線	<ul style="list-style-type: none"> 大循環 中循環1 中循環2 小循環 → 大循環	<ul style="list-style-type: none"> 左回り・右回りの交互運行 (30分毎) イオン加西北条SC、加西病院へ乗り入れ
郊外線	<ul style="list-style-type: none"> 若井線 万福寺線 国正・滝野線 青野原病院線 → 若井線 → 万福寺・芥田線 → 国正・滝野線 → 青野原病院線	<ul style="list-style-type: none"> 全系統を加西病院・イオン加西北条SCへ乗り入れ

・路線・ダイヤ改正 (平成23年2月1日)

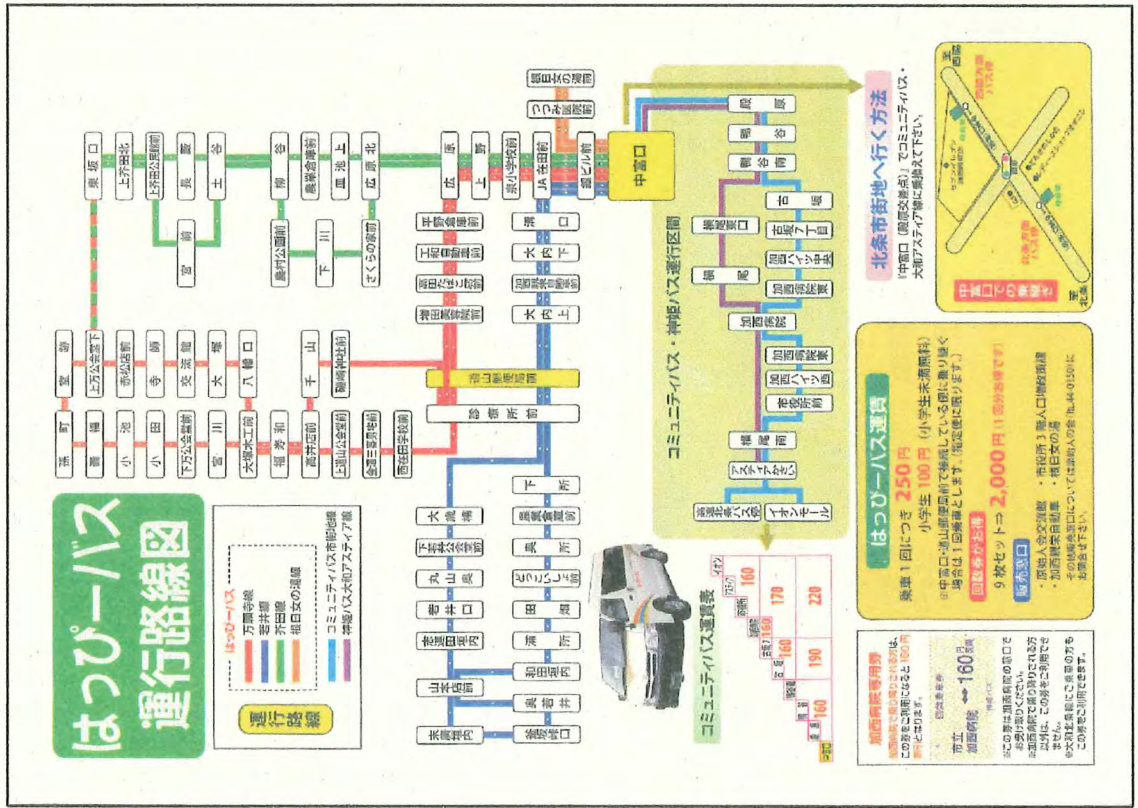
系統	概要	詳細内容
市街地 循環線	<ul style="list-style-type: none"> 大循環 小循環 → 大循環 → 小循環	<ul style="list-style-type: none"> 大循環は、左回りのみの運行 小循環は、加西病院～アステアアかさい区間で運行
郊外線	<ul style="list-style-type: none"> 若井線 万福寺・芥田線 国正・滝野線 青野原病院線 → 廃止 → 廃止 → 国正・滝野線 → 青野原病院線	<ul style="list-style-type: none"> 若井線、万福寺・芥田線は、はっぴーバス導入により平成23年3月31日廃止 国正・滝野線は、健康福祉会館へ乗り入れ開始 青野原病院線は、丸山公園前への乗り入れを廃止し、加西市役所前に乗り入れ開始 中富口線を新設 (アステアアかさい～中富)

・路線・ダイヤ改正 (平成24年4月1日)

系統	概要	詳細内容
市街地 線	<ul style="list-style-type: none"> 大循環 小循環 → 市街地線 → 中富口線	<ul style="list-style-type: none"> 市街地線は循環を廃止、健康福祉会館ルートを通す 中富口線は、郊外線から市街地線に統合し、ルート変更 加西ハイム西、加西病院東バス停新設 (加西市役所～加西病院間)
郊外線	<ul style="list-style-type: none"> 国正線 滝野線 青野原病院線 中富口線 → 国正線 → 青野原病院線 → 市街地線に統合	<ul style="list-style-type: none"> 国正線は、滝野駅までのルートを通す (国正まで) 青野原病院線は、ルートを変更 加西ハイム西、加西病院東バス停新設 (加西市役所～加西病院間)

事例1-2) はっぴーバスの運行開始

＜ はっぴーバス運行路線図 ＞



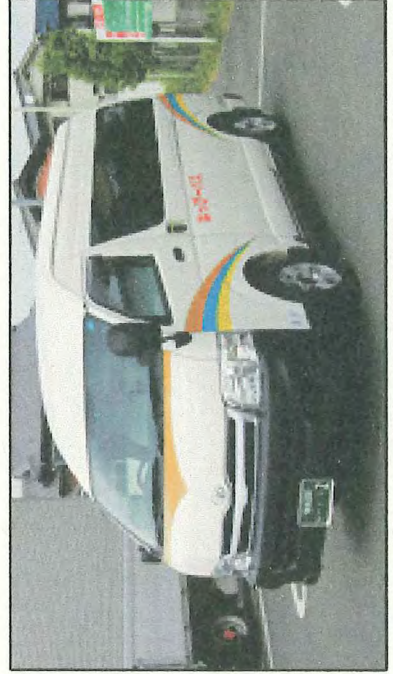
＜ はっぴーバス本格運行開始までの主なできごと ＞

平成23年2月
はっぴーバス実証運行開始 (無償)

平成23年9月
はっぴーバス有償運行開始

平成25年4月
はっぴーバス本格運行開始

＜ はっぴーバス ＞



はっぴーバスの運行：加西親栄自動車(株)、NPO法人原始人の会

事例1-3) コミュニティバス (ねっぴ〜号) のラッピング

・平成24年11月10日よりラッピングされたねっぴ〜号が運行中

＜ラッピング前＞

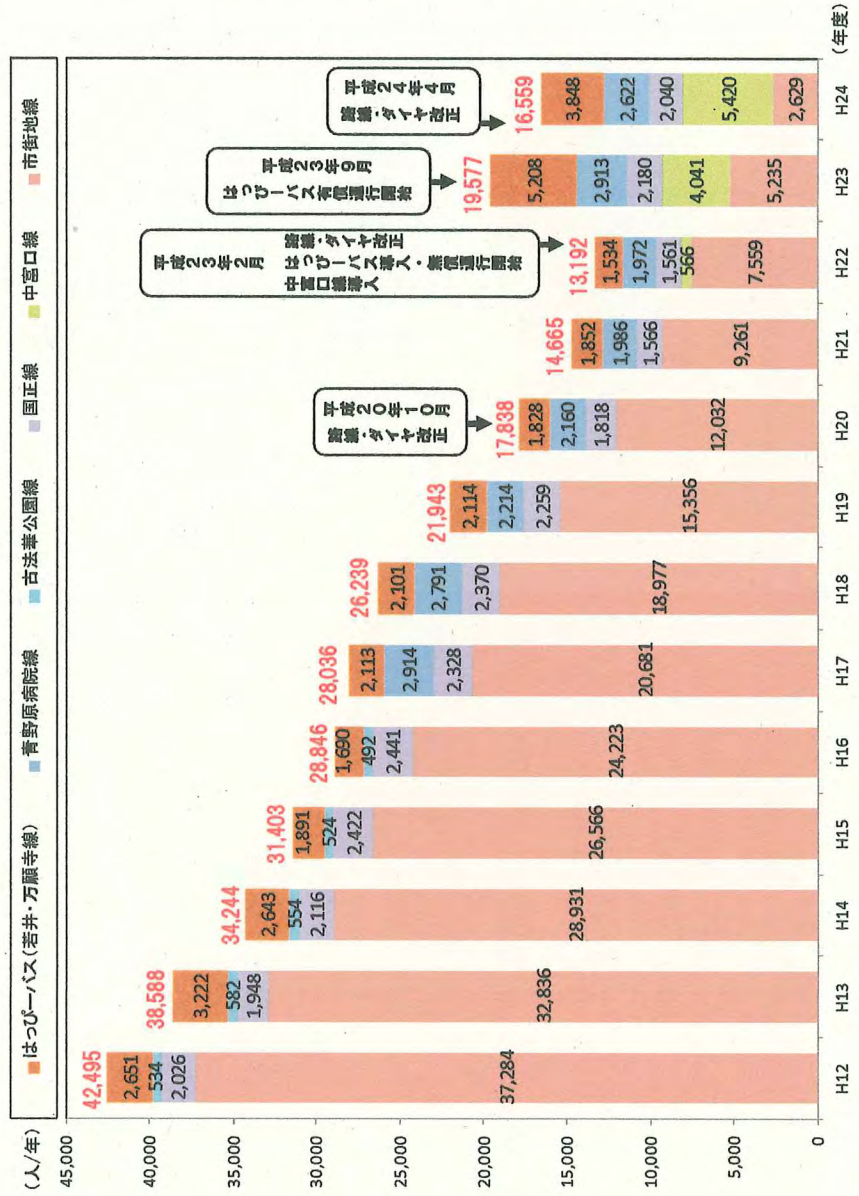


＜ラッピング後＞



■ コミュニティバス（ねっぴ〜号，はっぴーバス）乗車人員の推移

・平成12年より平成22年まで減少傾向であったが、平成23年2月のはっぴーバス導入及び路線・ダイヤ改正等によりコミュニティバス乗車人員が増加。
 ・しかし、また平成24年度では減少に転じている。



※ 古法華公園線はH16で廃止
 ※ 青野原病院線はH17より導入
 ※ はっぴーバス、中富口線はH23.2.1より導入
 (但し、はっぴーバスのH22年度分は計上していない)
 ※ 若井万願寺線はH23.3.31で廃止

出典：加西市所管データ

事例2-1) 安全対策の実施

- ・兵庫教育大学付属小学校の通学バスを利用している父兄から、登校時は兵庫教育大学の直通バスがあるが、下校時は社～姫路行に乗車して別府バス停で北条行に乗換えしており、道路が狭く交通量も多いのでバス停まで移動するのが危険であるため、父兄が毎日交代で誘導していた。
- ・父兄から東別府バス停なら広い場所があり、安全なので北条行を東別府バス停まで延長して欲しいと強い要望があったため、平成22年6月1日より別府バス停の2便を東別府バス停まで延長して安全に通学できるよう体制にして、少しでも多くの児童がバスを利用してもらえようとした。

＜ 運行路線変更ルート ＞



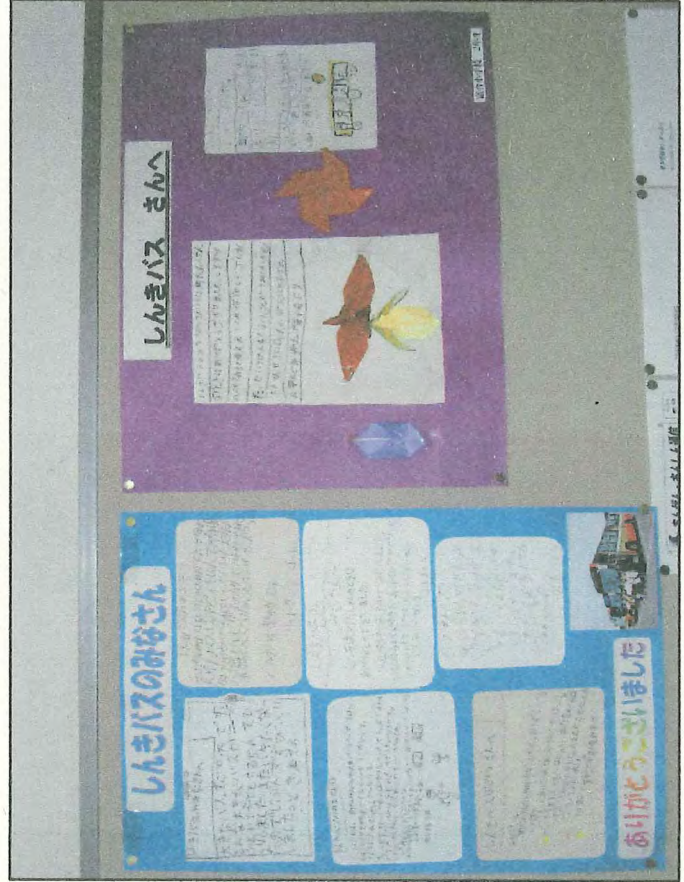
事例2-2) 地域活動の実施

・神姫バス利用への関心を持ってもらうために、平成25年6月に富合小学校の学生が神姫バス北条営業所の見学や運転士、整備工場の社員にインタビューをすることにより、自分たちの街や地域の生活体験をしてもらった。

< 生活学習実施 >

日時	対象者	生活学習内容
平成25年 6月7日	富合小学校2年生6名	北条営業所内の見学及び運転士や整備工場の社員にインタビューをして、自分たちの町や地域の体験をした。

< 富合小学校からの感謝状 >



事例2-3) 低床バスの導入

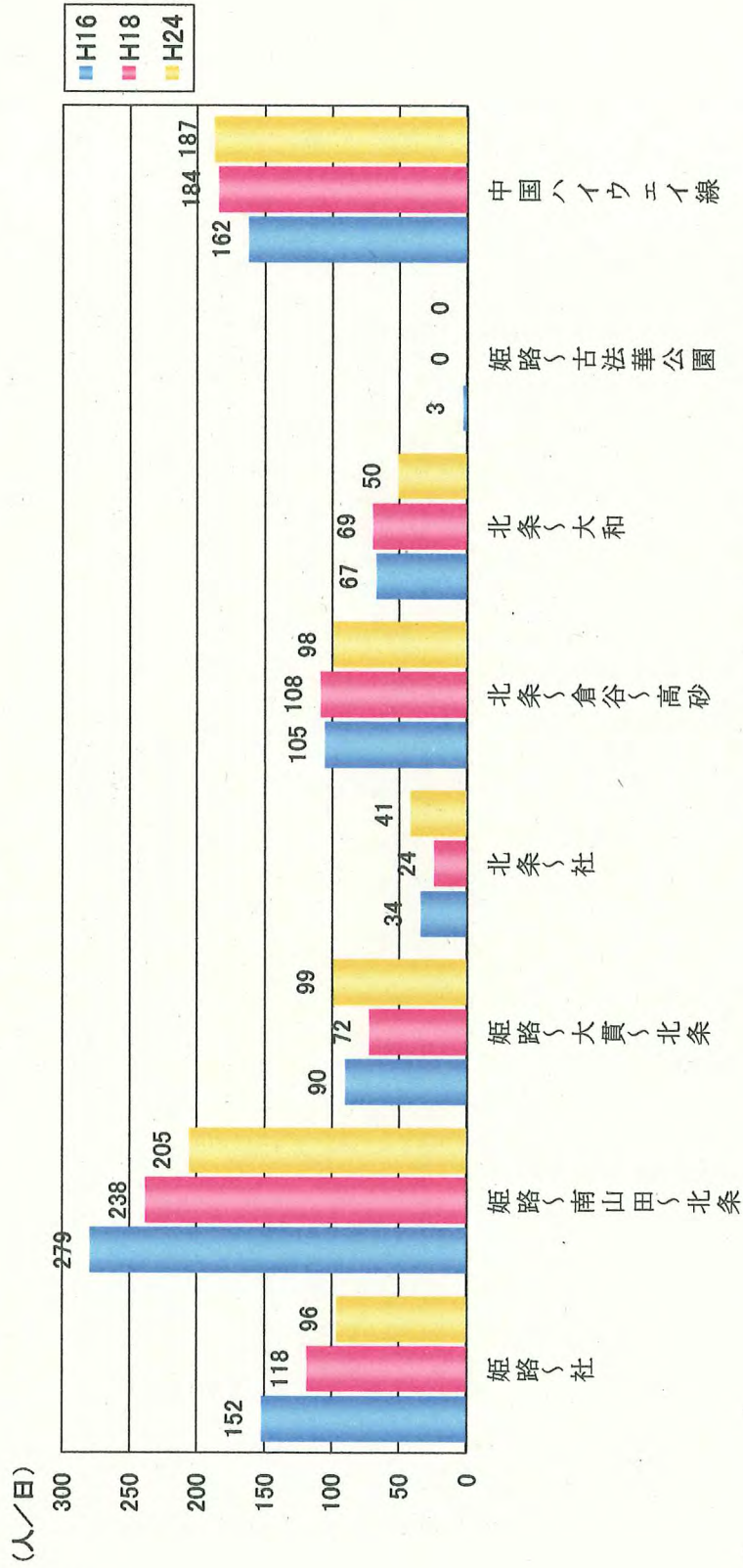
・神姫バス北条営業所において、ワンステップバス4両を導入

＜ ワンステップバス ＞



■ 路線バス・高速バス乗降者数の推移

-高速バスは増加しているものの、路線バスについては一部の系統を除いて減少傾向にある。



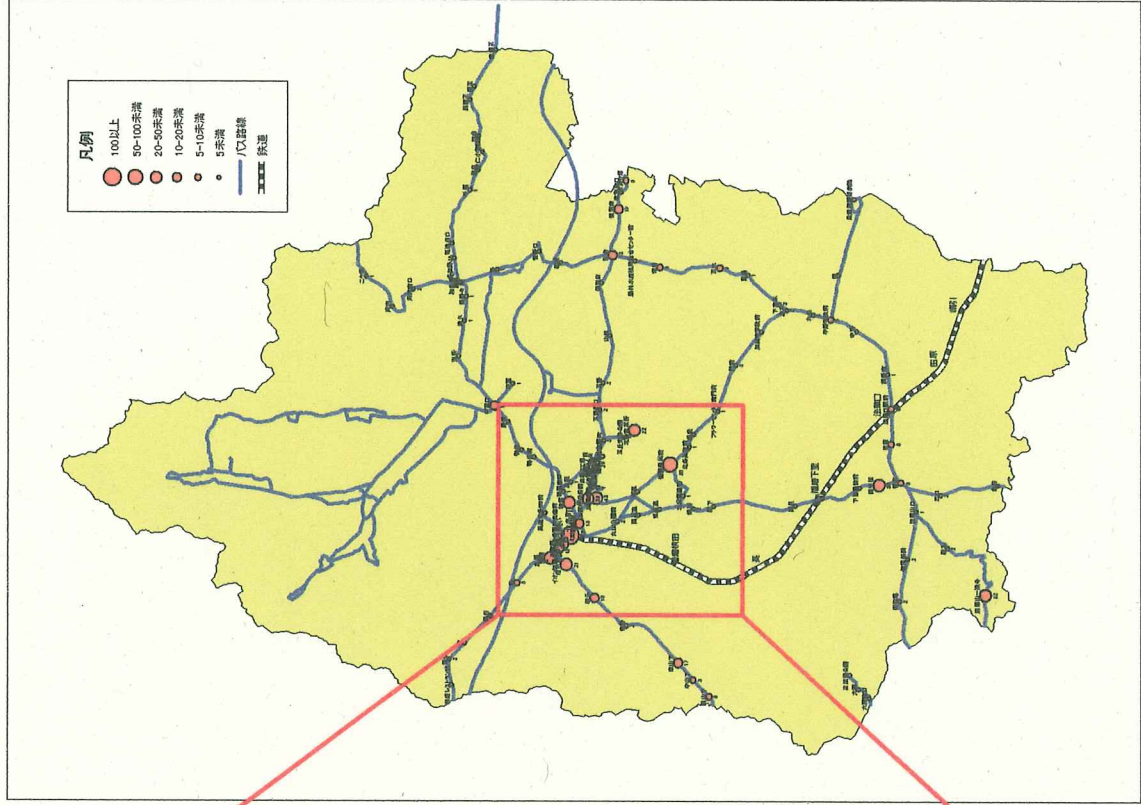
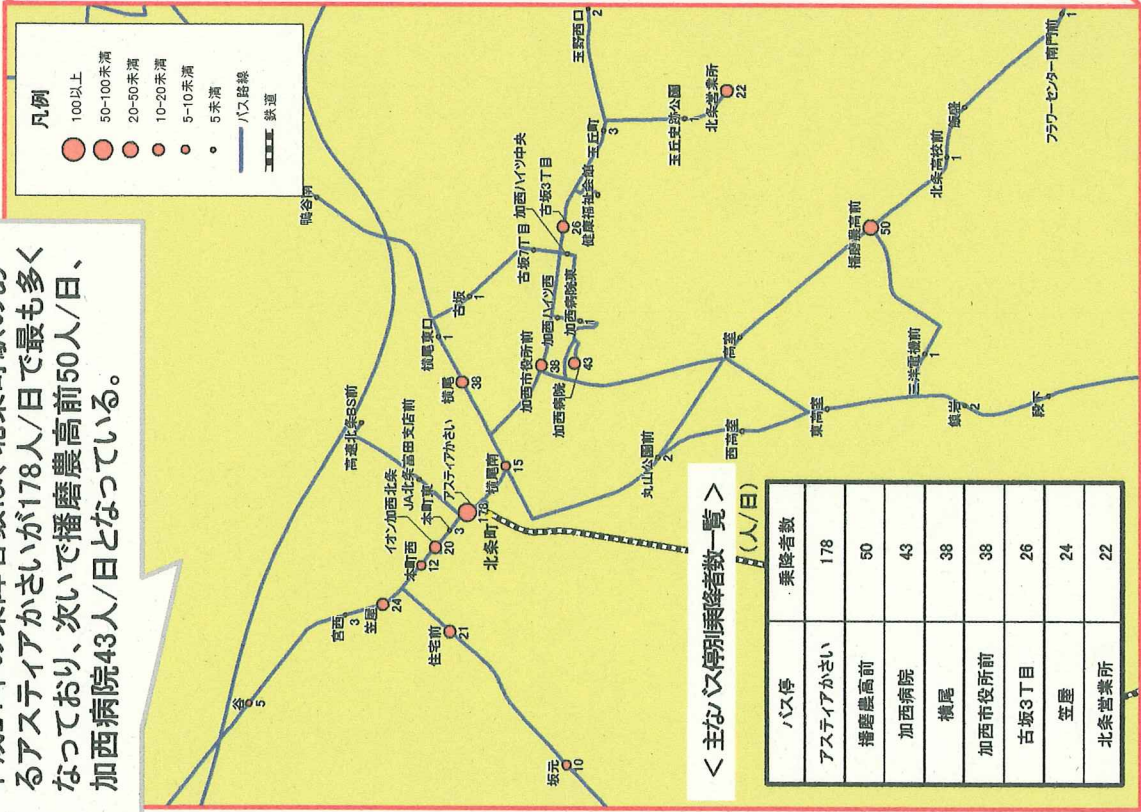
注) 平成24年平日1日あたりの加西市内バス停における乗降者数
西日本JRバス等の高速バスは含まれていない(神姫バスデータのみ)

出典: 神姫バス所管データ

バス停別乗降者数

平成24年の乗降者数は、北条町駅のあるアステアかさいが178人/日で最も多くなっており、次いで播磨農高前50人/日、加西病院43人/日となっている。

＜平成24年＞



注) 本図は路線バス及びコミュニティバス(ねっぴ〜号)合計の乗降者数を示している。
(路線バス: 神姫バス所管データ ねっぴ〜号: 加西市所管データ)

事例3-1) イベント列車の運行

・北条鉄道では、各種イベント列車を運行しており、かぶと虫列車やサンタ列車等毎年実施しているものだけでなく、ほたる列車やねっぴ〜紙芝居列車等、さまざまなイベント列車を企画し、実施している。

＜ かぶと虫列車 ＞



＜ サンタ列車 ＞



＜ 子ザル駅長と乗る列車 ＞



＜ イベント列車運行日時及び運行内容 ＞

内容	日時	備考
かぶと虫列車	毎年7月頃運行	・車内を森に見立てて北条町～栗生まで1往復する ・子供にはかぶと虫一つがいをプレゼント
サンタ列車	毎年12月頃運行	・北条町駅から1往復(約1時間)クリスマスの飾りをつけた貸し切り列車に乗って、各種イベントを実施
エココンサート列車	平成21年6月28日 平成22年6月19日	・北条町駅～栗生駅の往復で約1時間のコンサートを2便実施
“グランド・ハーブ”列車	平成22年4月1日	・グランドハーブの演奏を北条町駅発2回、栗生駅発2回の計4回実施
ほたる列車	平成22年6月16日	・車内からほたるの観察が可能
子ザル駅長とともに列車に乗車	平成22年10月16日～	・子ザル駅長とともに列車に乗る等のイベントを実施
ecoレレ列車	平成23年4月17日	・須磨の海岸に漂着するペットボトルで作成したウクレレを用いた音楽 監・糸井隆氏の列車内コンサート
よしもと芸人とゆくらブ列車	平成24年3月18日	・北条鉄道で加西を楽しむ【みんなで体験！～焼活編～】のイベント
ねっぴ〜紙芝居列車	平成25年2月17日	・北条町駅～栗生駅までの往復約1時間、「ねっぴ〜紙芝居」や「ねっぴ〜クイズ」等の実施 ・加西市マスコットキャラ「ねっぴ〜」との交流

事例3-2) ボランティア駅長制度

＜ ボランティア駅長による列車清掃の様子 ＞



＜ 僧侶による般若心経講座 ＞



・ボランティア駅長制度は平成18年5月に発足し、現在まで駅舎や車両の清掃、駅や列車でのイベント、宣伝活動など、様々な取り組みを行っている。

＜ 第1回ボランティア駅長会議 ＞



事例3-3) 北条鉄道利用促進キャンペーンの実施

- ・「広報かさい」に片道無料優待券を掲載
- ・優待券利用者にドーナツ1個をプレゼント
- ・優待券一枚あたり284円を市が負担

＜ 北条鉄道乗車優待券 ＞

・ 第1弾

・ 第2弾

・ 第3弾

・ 第4弾

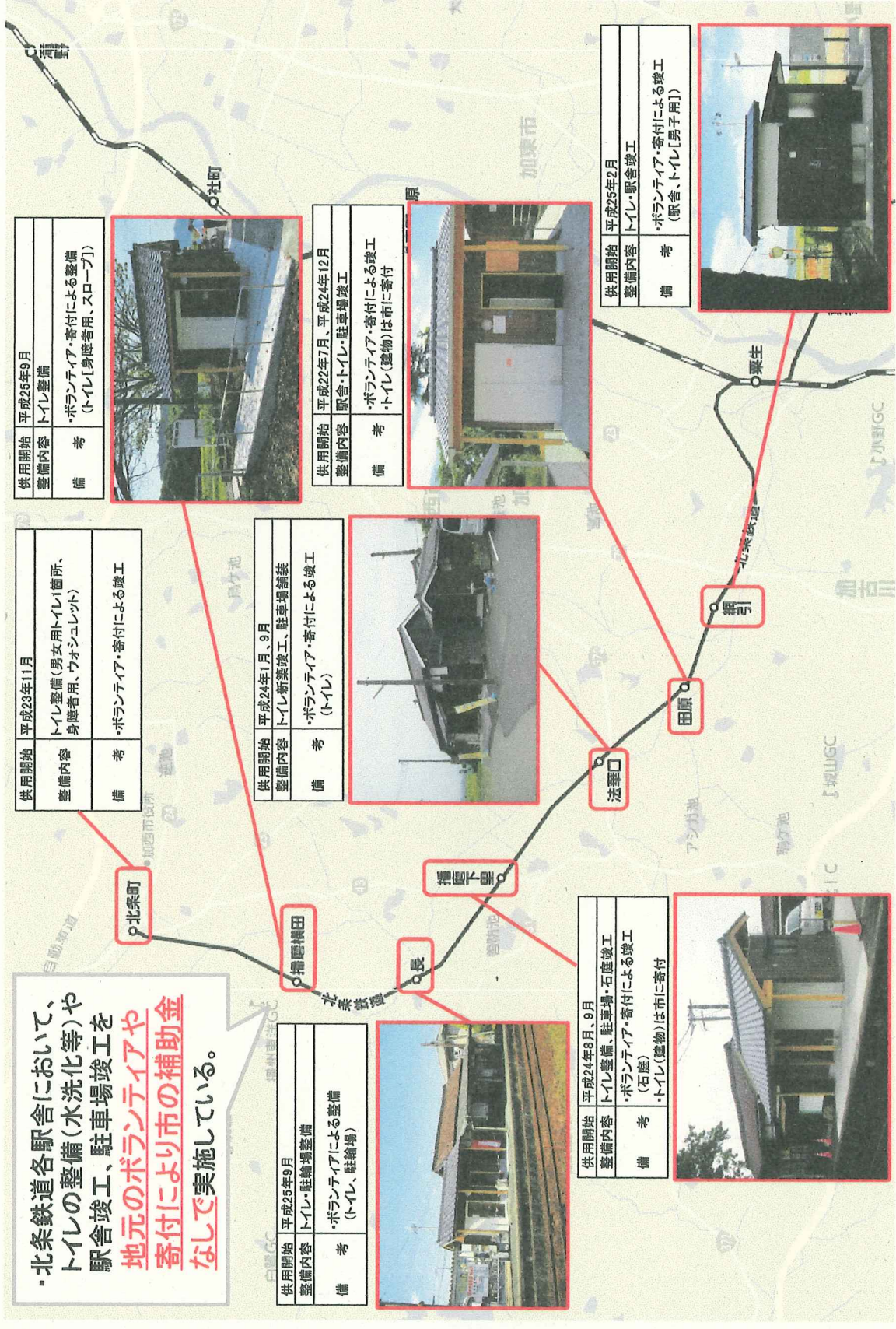


＜ 北条鉄道利用促進キャンペーンの利用者数 ＞

	実施期間	利用者数
第1弾	平成24年10月1日～平成24年12月31日(92日間)	811人
第2弾	平成25年1月1日～平成25年3月31日(90日間)	701人
第3弾	平成25年5月1日～平成25年7月31日(92日間)	734人
第4弾	平成25年8月1日～平成25年10月31日(92日間)	826人

事例3-4) 駅舎の整備

・北条鉄道各駅舎において、トイレの整備(水洗化等)や駅舎竣工、駐車場竣工を地元のポランテアや寄付により市の補助金なしで実施している。



■ 北条鉄道乗車人員の推移

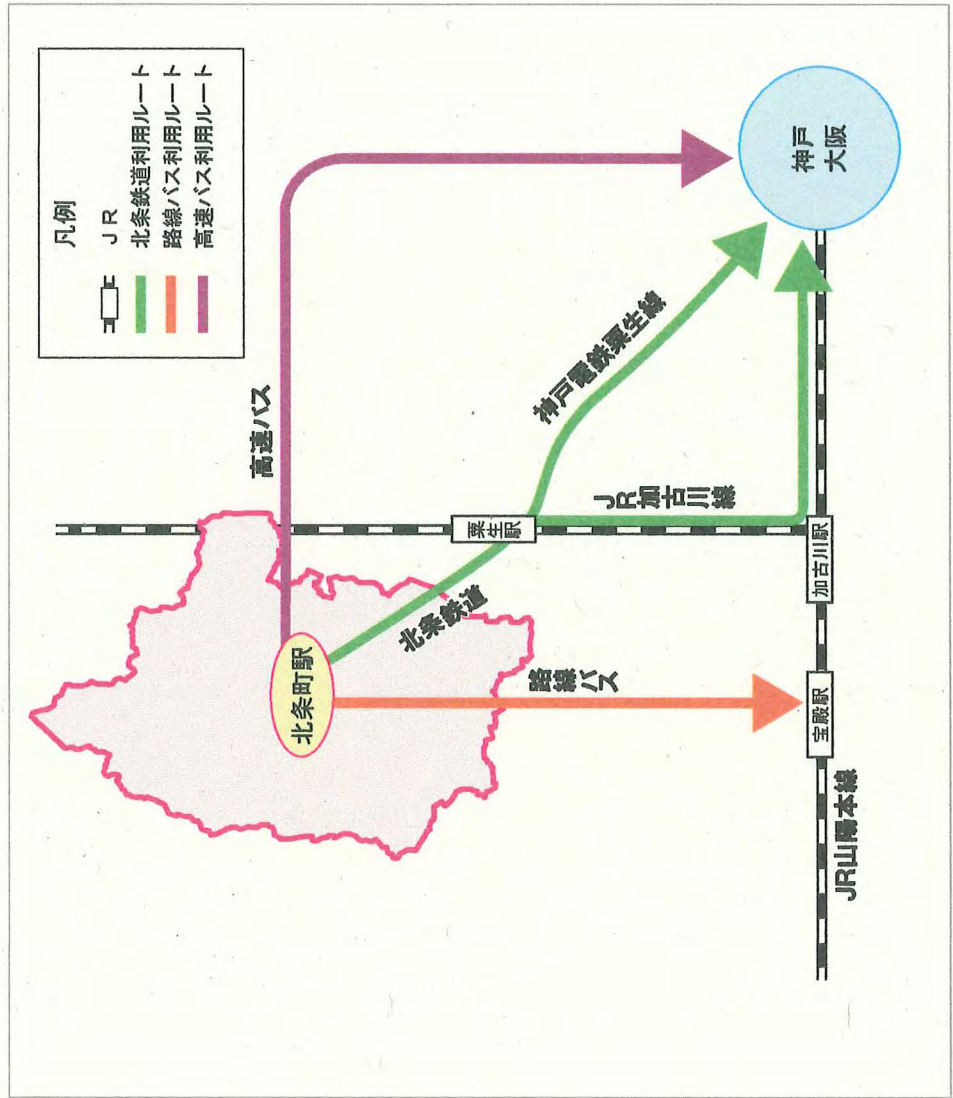
-北条鉄道の乗車人員は、年間約30万人前後で横ばいの傾向にあったが、さまざまな取り組みにより、近年では増加傾向がみられる。



出典：北条鉄道附属統計データ

事例4-2) 公共交通による都市部への通勤環境改善検討

・公共交通による都市部への通勤環境を改善させるため、多数のチャンネルを持って多様なニーズに対応していくことを目的に、路線バスや北条鉄道・高速バス・高速バスの活用方策を検討している。



評価と今後の課題

■ 評価と今後の課題

北条鉄道はさまざまな取り組みの効果が
ら、近年は利用者が増加している。

路線バスは高速バスが増加しているもの
の、利用者が減少し続けている。

コミュニティバスははっぴーバス運行の
効果でコミュニティバス総利用者は増
加した。しかし、減少傾向は依然として
続いている。

依然として加西市民の過度な自動車依存
は続いている。

高齢者が加害者となってしまう交通事故
が年々増加傾向にある。

市民に対するクルマ移動制約者の割合は
以前と同程度であるものの、送迎しても
らっているクルマ移動制約者は増加して
いる。

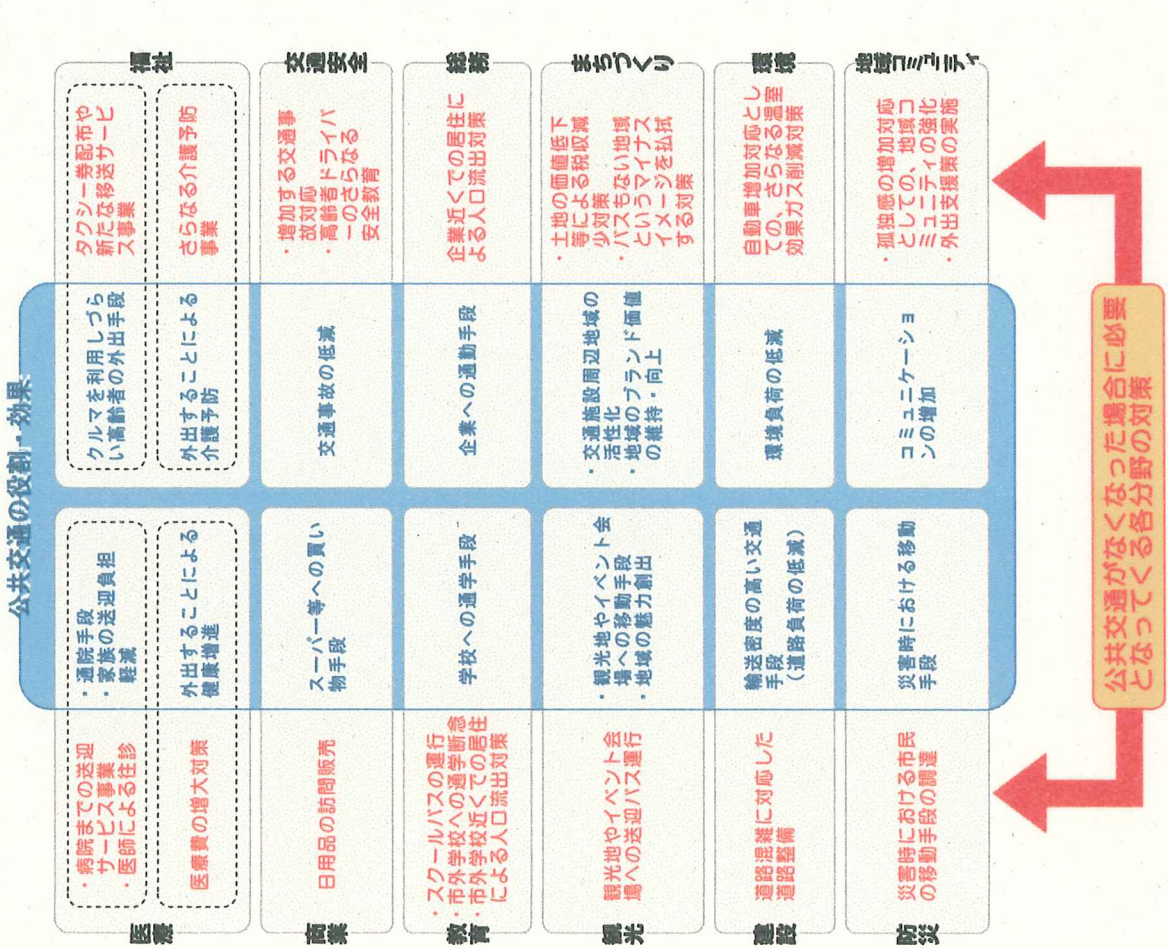
はっぴーバスの導入等のコミュニティバ
ス再編により、公共交通空白地が減少し
た。

行政補助額は国・県・市合計で年間約
7,200万円であり、その内、市負担分
は年間約5,300万円である。人口約4.6
万人であることから、人口1人当たりの
補助額（市負担分）は約1,100円とな
る。

人口1人当たり補助額約1,100円につい
て賛否両論があると思われるが、公共交
通が生み出す価値と必要性は、交通
分野だけにとどまらず、医療分野・福祉
分野をはじめ様々な分野を含めた社会全
体で検討する必要がある。適正な行政補
助額を設定することは困難である中で、
今後は他分野と連携して社会全体で公共
交通を検討していくことが重要である。

■ 評価と今後の課題

＜ 交通分野だけでなく社会全体から見た公共交通が生み出す価値 ＞



■ 評価と今後の課題

➤ 連携計画改定に向けた考え方

・社会情勢や地域情勢の変化に対応した**地域公共交通の再編**

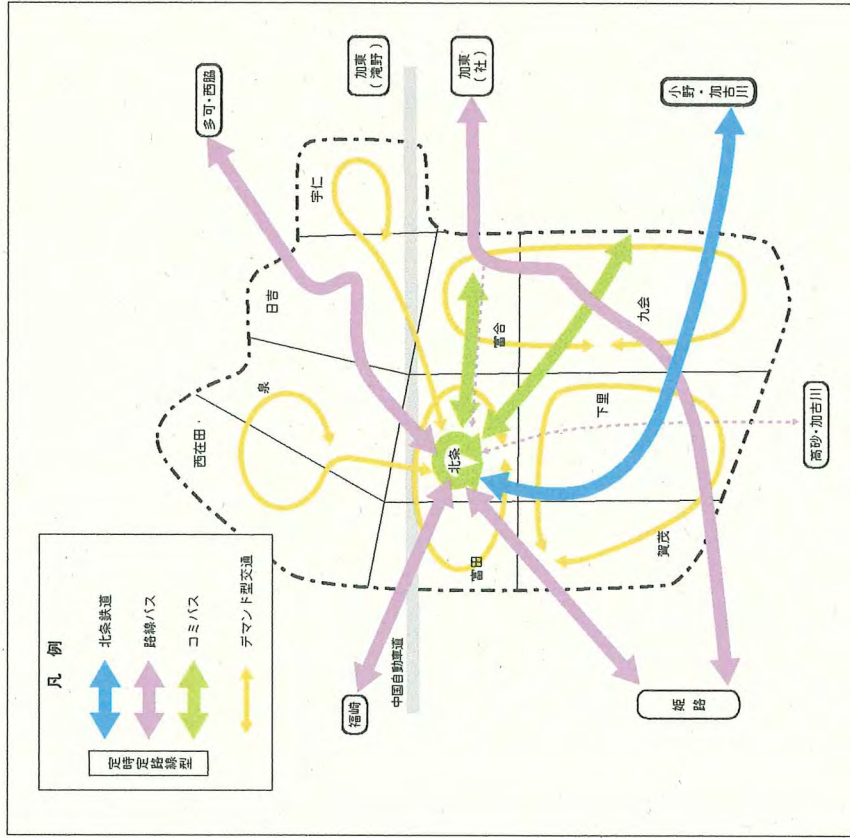
・公共交通の持続的発展に向けた**他分野との連携**

・公共交通不便地域の**高齢者の移動手段の確保**

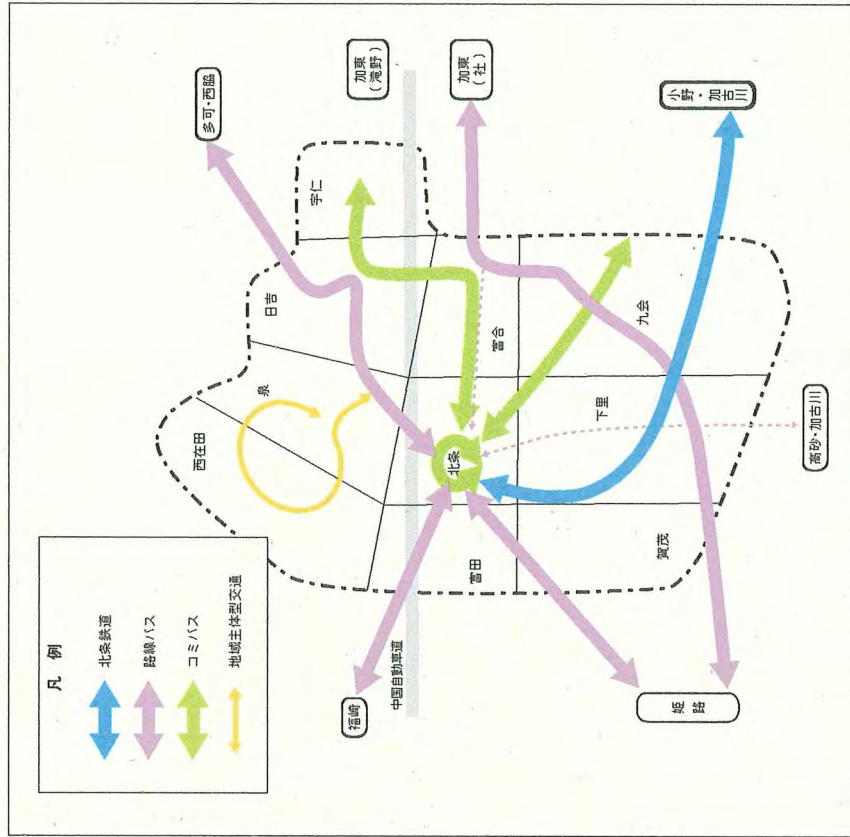
・さらなる**地域公共交通の利用促進**

公共交通網の再編

＜ 現連携計画の公共交通網の再編方針 ＞



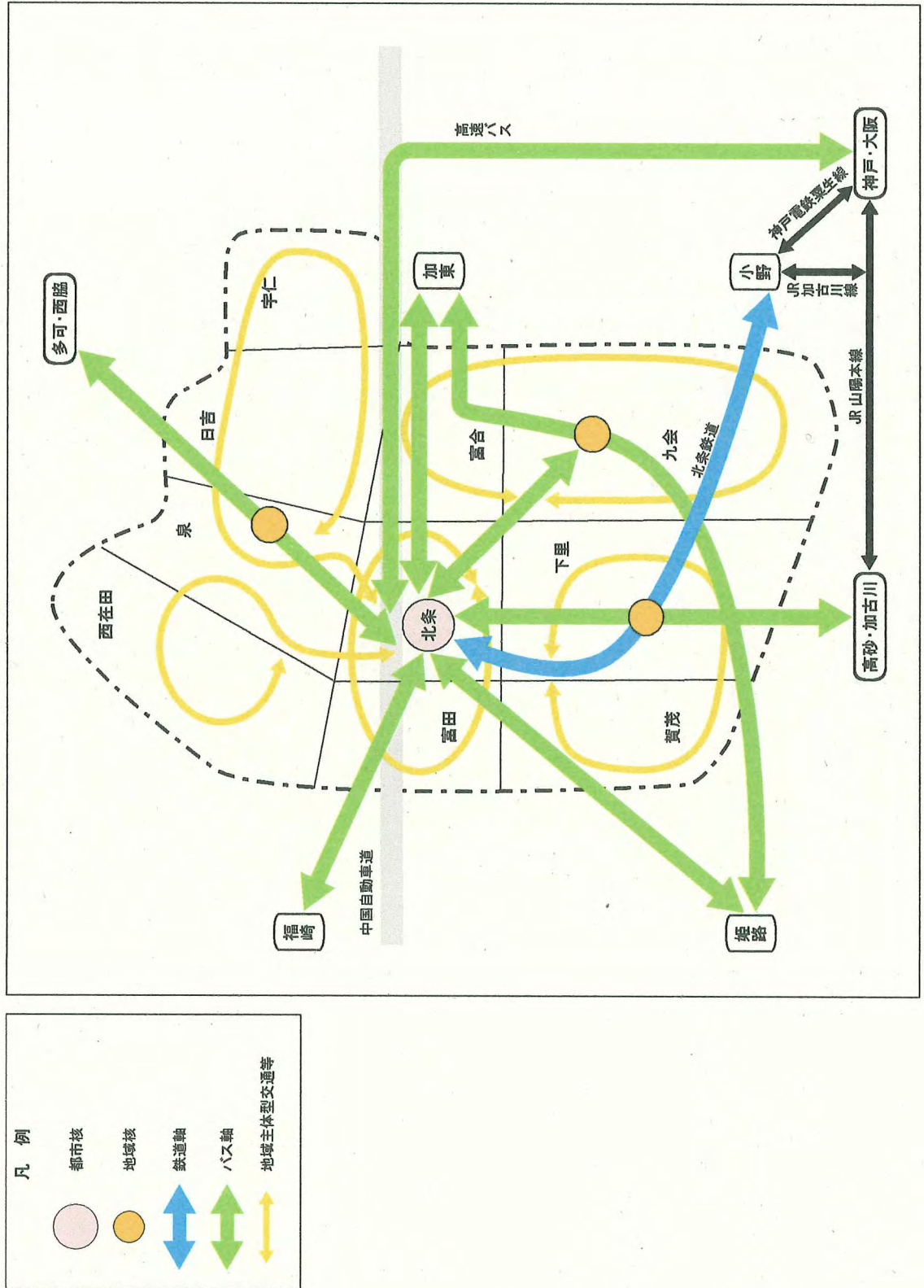
＜ 現在の整備状況図 ＞



次期連携計画の公共交通網の再編方針

公共交通網の再編

＜ 次期連携計画の公共交通網の再編方針 ＞



事業プログラム別評価

(当日)資料4

事業項目	事業内容	実施状況	実施内容
コミュニティバスの再編	万願寺芥田線、若井線の廃止	○	平成23年2月1日に廃止(平成23年2月1日からはっぴーバスに移行)
	国正滝野線を根日女の湯までに縮小	△	平成24年4月1日から滝野駅までを東国正までに縮小
デマンド型公共交通等の新たな交通システムの導入	万願寺芥田線・若井線をデマンド型公共交通に移行	△	平成23年2月1日からはっぴーバスに移行(デマンド型の導入は行っていない)
	中国自動車道以北の地域では、主に路線バス・コミバスのフィーダー交通としてデマンド型公共交通の導入を検討	×	
	その他地区については路線バス・北条鉄道へのフィーダー交通としてデマンド型公共交通の導入を検討	×	
	高齢者等が利用しやすい交通システムの検討	△	万願寺芥田線・若井線のはっぴーバス移行にあたり、集落内にバス停を設置し利便性向上に努めた
賑わいある鉄道駅整備	観光客や地域住民が集うことができる駅舎のコミュニティ施設化	○	網引駅舎の活用、長駅の「駅ナカ英会話」や播磨下里駅の「下里庵」等
	北条町駅に観光案内所を移設	○	アスティアかさいから平成21年4月1日に北条町駅構内に移設
	上位計画である都市計画マスタープランにおいて公共交通結節機能の充実がうたわれている法華口駅周辺地域を、目的型特別指定区域として位置付けることを検討	△	平成24年3月策定の都市計画マスタープランにおいて法華口駅を含む周辺地域を土地活用促進地区として定めた
利用者利便を図る駅舎整備	各駅にベンチを設置	○	各駅舎を整備し、待合スペースを確保した
	北条町駅待合室でバス・鉄道情報(乗継情報等)を提供	○	バス時刻表の配布と案内を実施
	播磨横田駅の駐輪場の増設や各駅において駐車スペースを明示	○	
	田原駅のトイレ設置、長・播磨下里・法華口・網引駅のトイレの水洗化を、その必要性を考慮しながら可能な限り実施	○	すべての駅トイレの水洗化を実施
	バス停位置等について問題のあるバス停を洗い出し、改善策を検討し実施	△	利用者の意見を聴き取りバス停にある問題を調査した
バス停の環境改善	バス停にベンチ・雨よけを設置	△	
	バス停の環境改善を地域が独自で実施する場合の財政支援策を検討	×	
	路線バスの利用促進	○	期間限定(平成21年10月1日～平成22年5月30日)で神姫バス・北条鉄道フリー乗車券を販売
市民を対象とした公共交通利用促進活動の実施	公共交通利用体験の実施	○	北条鉄道片道無料キャンペーンの実施、ねっぴー号ラッピングのお披露目式でサルビアっ子や小学生たちが試乗
	交通安全教室で公共交通利用の普及啓発	×	
	公共交通の利用促進フォーラム等の実施	×	
鉄道の利用促進を図るイベントの実施	各種イベント列車の運行	○	イベント列車(かぶと虫列車、サンタ列車、ねっぴー紙芝居列車)の実施
利用者利便を図る制度の構築	北条鉄道の利用者増を図るため割引乗車券・企画乗車券の発行や鉄道グッズの開発を実施	○	・割引乗車券…普通回数券、昼間回数券、フリーきっぷ等 ・企画乗車券…記念乗車券や新長寿切符等 ・鉄道グッズ…ストラップやチョコQ等
	コミュニティバスの利用者増を図るため割引乗車券・企画乗車券の発行を検討	△	・割引乗車券…回数券(はっぴーバス)、加西病院専用券(はっぴー、ねっぴー号)、乗継券(はっぴー、ねっぴー) ・春休み期間中(平成25年3月20日～4月7日)・夏休み期間中(平成25年7月20～9月1日)に、北条鉄道やコミュニティバス(はっぴーバス、ねっぴー号)を利用したスタンプラリーを実施
	ゾーン料金制の実施、100円刻みの料金体系の検討	×	
	北条鉄道のICカード導入の検討	×	

実施事業項目

	事業項目	事業内容	実施状況	実施内容
検討事業項目	近隣市町との連携強化	加西市と隣接している市町と連携して、広域的に移動する通院者や学生等の現況を把握し、そのニーズに合った広域的な公共交通網の構築を検討	×	
	市民が集う主要施設の整備	市民が集う主要施設にバスシェルター、ベンチ、バス・鉄道情報(乗継情報等)の提供設備の設置を検討	×	
	観光施設へのアクセス強化	鉄道駅からの観光施設までの交通手段の検討	△	
	乗って楽しいコミュニティバスの提供	ラッピング車両の導入検討	○	平成24年11月10日にコミバス(ねっぴー号)の命名およびラッピングを実施
		車内での絵画展や車内アナウンサーの募集等の企画バスの実施を検討	×	
	わかりやすい情報提供パンフの作成	わかりやすく使いやすい公共交通マップ及び時刻表の作成の検討	△	マイダイヤ作成活動
		観光客、ビジネス客にポイントを絞った情報提供策の検討(ポケット時刻表の作成、京阪神への復路ダイヤ表示等)	△	北条鉄道⇄JR・神戸電鉄 乗継入り時刻表の作成
	免許返納サポート制度の拡充	免許返納者に対する割引制度(拡充)の検討	○	神姫バスでは、運転経歴証明書提示で運賃が半額(現金での利用に限る。高速バス、定期観光バスを除く)

○:実施済
△:一部実施
×:実施していない

■ 次期事業プログラムの検討

事業方針	事業項目	実施主体
公共交通網の再編	社会の変化に応じたコミュニティバス(ねっぴー号)の再編	加西市、神姫バス
	デマンド型公共交通等の新たな交通システムの導入検討	加西市、NPO等
	地域団体による住民ニーズと可能な対応策の把握	加西市
	広域的に移動する通院者や学生等のニーズに合った公共交通網の構築を検討	加西市、近隣市町
	JR山陽本線までの通勤バスの導入検討	加西市、神姫バス
交通結節点整備	播磨横田駅の拠点化整備(P&R駐車場、C&R駐輪場等)	加西市、北条鉄道
	泉バス停(高速バス)パーク&ライド駐車場整備	加西市、神姫バス
	観光客や地域住民が集うことができる駅舎のコミュニティ施設化	加西市、北条鉄道
	法華口駅周辺地域の目的型特別指定区域を活用した活性化	加西市、北条鉄道、地元自治会等
	鉄道駅におけるベンチ設置	加西市、北条鉄道
	北条町駅待合スペースでバス・鉄道情報提供	加西市、北条鉄道
	鉄道駅における駐車・駐輪スペースの明示	加西市、北条鉄道
	バス停におけるベンチ・雨よけ設置	加西市、神姫バス、加西親栄自動車
	バス停におけるアドプト制度等の財政支援策の検討	加西市、神姫バス、加西親栄自動車
	市民が集う主要施設にバス・鉄道情報の提供設備の設置	加西市、商業事業者等
公共交通利用促進施策	路線バス企画乗車券の販売	加西市、神姫バス
	公共交通利用体験の実施	加西市、神姫バス、加西親栄自動車(NPO法人原始人の会)
	交通安全教室で公共交通利用の普及啓発	加西市、加西警察署、教育委員会、老人クラブ等
	北条鉄道における各種イベント列車の実施	北条鉄道
	北条鉄道割引乗車券・企画乗車券の発行	北条鉄道
	鉄道グッズの販売	北条鉄道
	コミュニティバスの料金体系の検討	加西市、神姫バス、加西親栄自動車
	北条鉄道のICカード導入	北条鉄道
	鉄道駅から観光施設までの交通手段の検討	加西市、北条鉄道、加西市観光まちづくり協会
	企画バスの実施(車内での絵画展等)	加西市、神姫バス、加西親栄自動車
	観光客、ビジネス客にポイントを絞った情報提供策の検討	加西市、北条鉄道、神姫バス、加西親栄自動車、加西市観光まちづくり協会
免許返納サポート制度の拡充(割引対象施設の増加等)	加西市、北条鉄道、神姫バス、加西親栄自動車、加西市観光まちづくり協会、加西警察署	
地域協働推進事業施策	住民を対象としたモビリティ・マネジメントの実施	加西市、北条鉄道、神姫バス、加西親栄自動車
	地域ワークショップ開催	加西市、北条鉄道、神姫バス、加西親栄自動車
	公共交通総合マップの作成	加西市、北条鉄道、神姫バス、加西親栄自動車
	交通機関の連携促進を目的とした企画乗車券の発行	加西市、北条鉄道、神姫バス、加西親栄自動車
	交通機関の連携促進を目的とした乗換情報の提供	加西市、北条鉄道、神姫バス、加西親栄自動車